

気候情報

2004年4月の日本の天候

高温（東日本、西日本）、少雨（東北を除く全国）、
多照（東日本、西日本）

4月の天気概況

低気圧が日本海や沿海州を通過することが多く、日本の南岸を通過することが少なかった。このため、北日本を除いて、移動性高気圧に覆われ、晴れて暖かい日が多かった。東・西日本では月平均気温が高く、日照時間はかなり多くなった。一方、北日本では一時的に寒気の影響を受け、下旬には雪が降ったところもあった。

上旬：天気は短い周期で変化した。1～2日にかけて日本付近を低気圧が通過し、全国的に雨や雪が降った。4日には本州南岸を低気圧が通過し、東・西日本を中心に雨が降り、ところにより雪が降った。7～8日には寒冷前線が通過し、南西諸島を除いて雨となった。そのほかの日は移動性高気圧に覆われて晴れた。**旬平均気温**は、東日本で高く、南西諸島で低かったほかは、平年並だった。**旬降水量**は、北日本太平洋側、東日本日本海側、南西諸島で平年並のほかは、少なかった。**旬日照時間**は、北日本太平洋側、東・西日本、南西諸島で多く、北日本日本海側では平年並だった。

中旬：移動性高気圧に覆われ全国的に晴れて気温の高い日が多かった。13～14日にかけて本州南岸を通過した低気圧や前線の影響で東・西日本太平洋側を中心に雨が降った。また、19日には低気圧が発達しながら日本海を通過し、全国的にまとまった雨が降った。**旬平均気温**は、全国で高く、東・西日本ではかなり高かった。**旬降水量**は、北日本太平洋側、東日本、南西諸島で少なく、ほかは平年並だった。**旬日照時間**は、北・東日本太平洋側、西日本日本海側、南西諸島で多く、ほかは平年並だった。

下旬：気温の変動が大きかった。22日には北日本を通過した低気圧に向かって南風が吹いたため、東・西日本を中心に気温が高くなり、4月の日最高気温の極値を更新した地点もあった。寒冷前線の通過後は強い寒気が入り、北・東日本を中心に気温が低くなった。また、27日には日本付近を発達しながら通過した低気圧や前線の影響で、全国的にまとまった雨が降った。**旬平均気温**は、北日本で低く、東日本で高かったほかは、平年並だった。**旬降水量**は、北日本太平洋側と東日本日本海側で多く、南西諸島で少なかったほかは、平年並だった。**旬日照時間**は、東日本太平洋側と西日本で多く、北日本日本海側で少なかったほかは、平年並だった。

4月の気候統計

平均気温：北日本を除いて平年を上回ったところが多く、東・西日本では平年を1℃以上上回ったところが多かった。特に関東では、平年を2℃以上上回ったところがあり、東京（東京都）、横浜（神奈川県）、千

葉（千葉県）では4月の月平均気温の最高値を更新し、熊谷（埼玉県）ではタイ記録となった。

降水量：東北を中心に平年を上回ったところがあったが、そのほかの多くの地域では平年を下回った。特に、北海道の一部、東日本から南西諸島にかけての一部では平年の40%以下となり、大島（東京都）、津（三重県）、種子島（鹿児島県）では4月の月降水量の最小値を更新した。

日照時間：北日本の一部を除いて平年を上回った。特に、東・西日本では平年の120%以上のところが多く、尾鷲（三重県）をはじめ、関東から九州にかけての34地点で4月の月間日照時間の最大値を更新した。

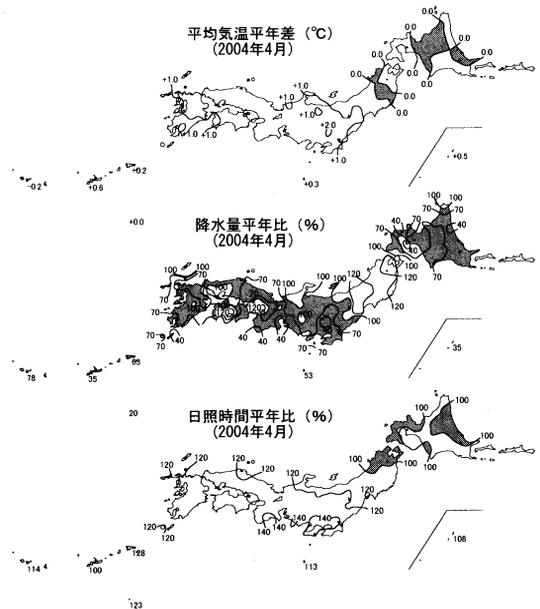
降雪・積雪：降雪の深さ、最深積雪ともに北日本で平年を上回った。

（気象庁観測部統計室）

4月の記録（1位更新のみ）

- ・月平均気温の高い方から（℃）
東京 16.4 横浜 15.9 千葉 15.8
熊谷 15.4（タイ記録）
- ・月降水量の少ない方から（mm）
津 36.5 大島 102.5 種子島 76.0
- ・月間日照時間の多い方から（時間）
熊谷 246.1 甲府 252.5 東京 235.4
尾鷲 253.3 横浜 232.6 千葉 229.7
岡山 249.3 神戸 244.1 大阪 241.8
奈良 234.7 大分 247.9 徳島 253.9
など、計34地点

2004年4月の平年差（比）図



注) 陰影の部分は、平年より低い（少ない）地域を示す